

小規模の出向者が現地で行う感染対策

1.目的

大分県理学療法士協会（当会）が外部団体などから会員の講師派遣などの依頼を受けるにあたり、出向者の感染予防対策の周知ならびに依頼主への対応の標準化を目的に本ガイドを使用する

2.依頼主に依頼する感染予防対策について

- (1) 当日の参加者の体調管理の依頼と参加者氏名と連絡先
- (2) 参加者のマスク着用
 - 1) トレーナーサポートについては、大会運営側の指示に従うが、会員が対応しているときには極力マスクを付けてもらう
- (3) 換気可能かつ密集が避けられる部屋の準備
 - 1) 部屋の定員の50%を目安として、参加者と会場の調整を依頼する
- (4) 手指消毒用のアルコール製剤ならびに使用備品の消毒方法の確認
- (5) 座席設置などは身体的距離（1～2 m）を配慮する
- (6) 会場及び依頼団体がある市町村の感染状況についての情報収集

3.会員が出向するまでの準備

- (1) 職場からの出張許可（必要に応じて派遣依頼書を事務所から発送）を得る
- (2) 出向日を含む前後1週間の検温の記録
- (3) 体操指導などの際には、呼吸が激しくならないような運動や指導への変更など内容の調整
- (4) 身体接触を伴う内容の依頼であれば、必要最低限にするか動画にて説明するなどを検討
接触を伴う際には手袋の使用なども検討する
- (5) 講習会参加にあたり、厚生労働省の接触感染アプリをインストールし使用しておくことを推奨する

4.当日の対応

- (1) 出向者の検温結果及び体調を依頼団体へ報告
- (2) 依頼団体からの参加者及び参加者の体調の確認
 - 1) 受付時の当日参加者の検温、体調確認
 - 2) 当日の参加者の感染対策の広報
 - 3) トレーナーサポートなどの屋外活動かつ対応者の体調が把握しにくいケースは、運営者との調整を別途行う
- (3) 屋内活動の際には換気（1～2時間ごとに5～10分）の確認を依頼団体と行う
- (4) 講師と参加者の距離を適切に取れるかの会場レイアウトを検討する
- (5) トレーナーサポートなど対象者がマスクを使用できない際には、必要に応じてフェイスシールドを使用する

参考資料

公民館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン：公益社団法人全国公民館連合会

新型コロナウイルス感染症 市民向け感染予防ハンドブック：東北医科薬科大学

新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針：厚生労働省（5/25更新）

対面授業受講にあたっての注意事項：大分大学

理学療法士のためのCOVID-19感染予防対策動画：日本理学療法学会

日本徒手理学療法学会技術講習会 注意事項について：日本徒手理学療法学会

COVID-19に対する徒手理学療法を行う際の留意点について：徒手理学療法部門

士会の対面講習会などの事業における感染対策

1.目的

大分県理学療法士協会（当会）が士会事業として対面講習会を実施するに当たり、士会の事業を担当する各局が感染予防対策を標準的に実施できることを目的に本ガイドを使用する

2.参加者の準備

- (1) 講習会参加に当たり、職場の許可を得る
- (2) 講習会開催日から1週間前の検温結果を保存しておく
- (3) 講習会参加時のマスクを準備しておく
- (4) 講習会参加時はなるべく自家用車を利用し、公共交通機関の利用は控える
- (5) 講習会当日に体調不良（発熱、咳、倦怠感など）の人は、参加しない
- (6) 講習会1週間前に発熱などがあった際には、各事業の問い合わせ先に相談すること
- (7) 講習会参加にあたり、厚生労働省の接触感染アプリをインストールし使用しておくことを推奨する

3.講師への確認事項

- (1) 講習会の内容を確認し、参加者同士が密になる可能性がある実技は動画で紹介してもらうなど代替方法が可能かを相談を行う
もし、代替方法が難しいときには、参加者同士の呼気の流れなどに配慮しながら実技を行う（参考：日本理学療法士協会 COVID-19 理学療法実施の注意点）
- (2) 移動手段は可能な範囲で自家用車を利用してもらうが、公共交通機関を利用するときには移動時間を短くするなど感染リスクに配慮する

4.運営側の準備

- (1) 当日運営に携わる部員は職場の許可を得る
- (2) 研修会開催日から1週間前の検温結果を保存しておく
- (3) 講習会当日に使用するマスクを準備しておく
- (4) 講習会の受付名簿は連絡先がわかるようにしておく
- (5) 部員が講習会当日に体調不良による欠席があることを想定して、余裕のある人員調整を行う
- (6) 部員用のマスク（非常時用）、手指消毒用のアルコール、体温計（非接触型）、清拭用アルコールクロスなどを準備する
- (7) 座席表を準備し、講習会当日の参加者の動きが把握できるようにする
- (8) 当日の運営スタッフ間でも可能な限り1mの距離を保てるよう、人員配置を行う
- (9) 講師と参加者の間隔は2m以上の間隔を保つこと

5.講習会の注意点

- (1) 講習会受付の返信メールにてマスクの着用や受付時の検温など当会が行う感染対策を記載し、余裕をもって受付できるよう周知しておく
- (2) 参加者には当日の検温、問診票の記載内容、体調チェックで6番の基準に該当する際は受付を断る旨を連絡しておく
- (3) 講師についても当日検温を行い、講習会の当日責任者が確認をする
- (4) 講習会の定員は、会場の定員数の50%未満として、座席間隔を1m確保する
2部屋以上にわける際はZOOMなどの使用も検討する
- (5) 入退室の際にはアルコール手指消毒を必ず行う
- (6) 受付には飛沫予防用のフィルムなどを設置する（必要に応じてフェイスシールドの利用を検討する）
- (7) 受付前に手指消毒を行ってから受付を行い、入室許可時間になってから入室する

受付で密集にならないよう時間差での受付を行うなど配慮する。

(必要に応じて誘導係を配置すること)

- (8) 受付は1列に並んでもらい、前後を1mずつ空ける
- (9) 講習会の開始前に、感染防止予防対策実施の協力のアナウンスを行う
- (10) 換気については1~2時間に5~10分程度換気を行う
- (11) 共用する部分(ドアノブ、マイクなど)は定期的に清拭用アルコールクロスにて清拭する
- (12) 昼食を取る際には自家用車内で食べてもらうなど、感染予防に協力してもらう
会場で食べる際には密集を防ぐためにも、食事が出来る部屋などを別途調整する
もしくは私語を極力控えて食事を取ってもらう
- (13) 共有した備品を触れた後は、目や鼻などは触らないように周知する
- (14) 受付時の検温で発熱している事が分かった参加者については、返金対応を行う。
ただし、無断欠席の際にこれに限らない(電話などを行い、状況確認を行い局長にて判断する)
- (15) 講習会中に実演モデルが必要な場合には、あらかじめ調整を行い、本人の承諾を得ておく(講習会中に急に指名しないようにする)
- (16) 可能な限り資料は事前に参加者の席に置き、手渡しでの配布は控える
- (17) 会場内では大きな声を出さない(日常会話レベルと隣人の人と話す範囲は可能)
- (18) 来場者の行動範囲はあらかじめ確認しておく(トイレの使用など)

6.当日参加を断る基準の目安

- (1) 受付時の検温で再測定をしても37.5°C以上(もしくは平熱+1度)の発熱者
- (2) 発熱はなくても、問診票の体調不良やエピソードの欄に該当する人
- (3) 講習会受講中に体調が悪くなった人
- (4) 講習会開催1週間前に体調不良があった人

7.感染者が発生した場合の対応

- (1) 受講者または当日運営スタッフに感染者が発生した場合
 - 1) 同講習会に参加していた受講者および当日運営スタッフ全員に速やかに連絡する
 - 2) 利用施設へ速やかに連絡する
 - 3) 感染者の人権には十分に配慮し、個人名が特定されないことがないよう留意する
 - 4) 感染拡大防止を目的とした個人情報については、適切な取り扱いを行う
 - 5) 保健所などの聞き取りについては、局長と相談しながら必要な情報を提供する
- (2) 開催施設建物内で同時刻帯に接触した可能性がある方に感染者が発生した場合
 - 1) 共用部分(お手洗いなど)で接触の可能性もあるため、同講習会に参加していた受講者及び当日運営スタッフ全員に速やかに連絡する
 - 2) 開催施設に連絡を取り、必要な対応を確認し、情報共有を行う

参考資料

公民館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン：公益社団法人全国公民館連合会

新型コロナウイルス感染症 市民向け感染予防ハンドブック：東北医科薬科大学

新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針：厚生労働省(5/25更新)

対面授業受講にあたっての注意事項：大分大学

理学療法士のためのCOVID-19感染予防対策動画：日本理学療法学会

日本徒手理学療法学会技術講習会 注意事項について：日本徒手理学療法学会

COVID-19に対する徒手理学療法を行う際の留意点について：徒手理学療法部門

研修会事業開催における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン：日本理学療法士協会

理学療法士作業臨床実習指導者講義政府方針を踏まえた新型コロナウイルス感染症に対応するための

開催形式について：日本理学療法士協会

更新：R2.10.13

問診票

本日の研修参加にあたり、新型コロナウイルスの感染拡大予防として、参加者に下記の間診を行っています。ご協力、ご理解の程よろしくお願い致します。

①研修参加時の注意点

研修会を受講するにあたり、下記の間診票をお読みいただき、該当するものに○を付けてください。問診票を作成した後は、受付に提出ください。

また、感染が発生した場合の参加者への確実な連絡と行政機関による調査への協力をお願いすることがあります。予めご了承ください。

②問診内容

氏名 _____ 年齢 _____ 歳 当日朝の検温 _____ °C
(自宅で測定)

住所 _____ 県 _____ 市

連絡先 (携帯可) _____

(主観的症状)

- | | | | | | | | |
|-----------|----|----|------|-----|------------|----|----|
| ●風邪症状 | なし | あり | 咳 | 痰 | 咽頭痛 | 鼻汁 | 頭痛 |
| ●呼吸困難感 | なし | あり | いつから | | 頃から | | |
| ●強い倦怠感 | なし | あり | いつから | | 頃から | | |
| ●呼吸器症状 | なし | あり | 喘鳴 | 胸部痛 | 息上がり (安静時) | | |
| ●味覚や嗅覚の異常 | なし | あり | | | | | |

(エピソード)

- | | | |
|--------------------------------|----|----|
| ●同居者に感染者がいるもしくは自身が濃厚接触者と言われている | ある | ない |
| ●新型コロナウイルス感染症の患者のリハを実施した | ある | ない |

主観的症状およびエピソードにチェックがついた人は、講習会に参加することはできません

上記の間診内容の記載に相違はございません

施設名 _____

氏名 _____

大分県理学療法士協会